

各専門部会等取組状況報告書

専門部会名	福祉サービス支援部会
担当する「ながふく障がい者プラン」の重点施策	<p>① グループホーム整備への支援</p> <p>② グループホームの体験利用の促進</p> <p>⑬ 移動支援の支援員の人材育成</p>
協議内容	<p>平成29年度の重点施策を継承し、平成30年度においても同様のテーマで取り組んだ。①については、市内にて2か所のグループホームの整備がなされるため、部会にて協議を図った。また、②グループホームの体験利用の促進と⑬移動支援の支援員の人材育成について毎月作業部会を開催し（毎月第3金曜日午前10時から正午まで各重点施策1時間ずつ）、目標へ向けた具体的な方法について協議と実施までを行った。</p> <p>〈協議内容〉</p> <p>①グループホームの整備については、市内2法人で新たに新設され、今後、さらに1法人で増床される見込みであることが、当初より確認できた。本部会において、協議した結果、2つのテーマが委員の意見として提案された。ひとつは、設置数ではなく、必要人数を把握することが重要ではないか？ もうひとつは、産めよ増やせよから、全国的にも課題になっている、グループホームとしての質的向上である。そのため今年度の後期目標として、ニーズ調査を実施していく見込みである。</p> <p>②グループホームの体験利用の促進 障がい者が将来、地域で自立した生活を送ることができるよう、実際に家族と離れて地域生活を体験することで生活するための力を養い自立意欲を高める支援を行うことにより、障がい者の社会的自立を促進することを目的とし、「長久手市障がい者地域生活グループホーム体験事業」の実施を検討している。本事業は、名古屋市で実施されている「名古屋市知的障害者地域生活体験訓練事業」を参考にしており、事業内容や対象者、支援内容等について話し合いがされている。今後検討すべき内容として、利用開始までの手続きの流れや、事業を継続させるために必要なことの整理等が挙げられたため、平成30年度の事業開始に向けて引き続き作業部会で検討していく。</p> <p>⑬移動支援の支援員の人材育成 移動支援事業に従事する従事者を養成することを主とした目的として、「長久手市移動支援事業従事者研修」を試行した(平成30年9月に継続研修4日間)。当該研修は、起案より4年間を要し、このほど福祉課、部会員、Nーバス、リニモの協力を得て、のべ15名の参加者を養成した(別添資料スライドおよびアンケートまとめ)。本研修の今後の体制については、事業所指定を行い、民間主導で実施していく。また、この研修の趣旨については、移動支援従事者を養成するだけでなく、今後、障がい福祉サービスへの関心や理解を促進するとともに、福祉人材の掘り起しにもつなげていきたいねらいがあり、次年度以降も実施状況を鑑み、検証していく見込みである。</p>
今後の課題、取組	<p>①については、長久手市内におけるグループホームの必要者数として新たにニーズ調査を行い、具体的方法としては、ながふく障がい者プラン策定の際に実施したアンケート資料をベースとして、新たに市内の相談支援事業所4か所にアンケートを実施し、本人の視点、家族の視点、相談支援専門員の視点の3者の視点を検証し、必要者数を把握していく予定である。また、今後、グループホームやグループホームのみならず、市内の福祉サービスの質的向上についても部会として取り組んでいく方向性である。</p> <p>②と⑬については、事業開始予定を平成30年度からとしているため、具体的な実施方法等について今後も作業部会で検討していく。</p>
所属	特定非営利活動法人百千鳥
部会長	竹田 晴幸